

大会名 Competition	第47回東北中学バスケットボール大会 【男子予選リーグ】
NO. C-4	Year Month Day Time 2017 年 8 月 9 日 13 : 00
場所 Place	CNAアリーナ★あきた

秋田県中学校体育連盟
秋田県バスケットボール協会

チームA		チームB
佃	(16 1st 13 17 2nd 17 11 3rd 8 10 4th 15 - OT -)	福島第一
54 ○		53 ●

主審:Referee
久米 克弥 秋田県
副審:Umpire
近藤 孝昭 秋田県
テーブルオフィシャル:Table officials
秋田市立桜中学校

No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-IN	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	小野 功稀	CAP	21	0	9	3	3	4	×	福地 真央	CAP	8	0	4	0	3
5	×	工藤 粹		12	0	5	2	1	5	×	下重 太一		0	0	0	0	3
6	×	辻 愛輝		4	0	2	0	2	6	×	村松 俊介		10	0	5	0	-
7	×	長洞 友真		4	0	2	0	1	7	×	高橋 克徳		29	4	8	1	4
8	×	今 建士朗		13	0	6	1	-	8	/	阿部天太郎		0	0	0	0	-
9		高橋 航		-	-	-	-	-	9	/	井澤 颯汰		0	0	0	0	4
10		打越 皓也		-	-	-	-	-	10	×	齋藤 恒陽		6	0	3	0	2
11		佐々木 大智		-	-	-	-	-	11		長崎 大地		-	-	-	-	-
12		奈良 真輝		-	-	-	-	-	12		佐藤 蓮		-	-	-	-	-
13		一戸 太志		-	-	-	-	-	13		山田 有晏		-	-	-	-	-
14		高谷 優成		-	-	-	-	-	14		八巻樹稀也		-	-	-	-	-
15		成田 ネオ		-	-	-	-	-	15		伊藤 瑛士		-	-	-	-	-
16		柴田 陽		-	-	-	-	-	16		寒河江康介		-	-	-	-	-
17	/	小川 楓		0	0	0	0	-	17		奈良輪幸哉		-	-	-	-	-
18		石岡 開斗		-	-	-	-	-	18		熊倉 悠介		-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
				-	-	-	-	-					-	-	-	-	-
監督		中村 浩仁							監督		杉 朋子						
コーチ		中村 浩仁							コーチ		今村 恵美子						
合計				54	0	24	6	7	合計				53	4	20	1	16

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3Pポイントシュート 2P:2Pポイントシュート FT:フリースロー F:ファウル

両チームハーフコートマンツーマンでスタート。佃は#4と#8のインサイドを中心とした攻撃、対する福島第一はプレッシャーのあるディフェンスから#4と#6のドライブやジャンプシュートで得点する展開。佃は長身を生かした#4と#8のゴール下のシュートやリバウンドシュートで加点する。福島第一も#7のジャンプシュートや3Pで詰め寄るが、第1Q16-13で佃がリードして終了。第2Qに入っても、佃は#4と#8のインサイドプレイや#5のドライブで確実にシュートを決める。残り4分、得点の止まっていた福島第一は#10がゴール下シュートを決め、さらに#7のドライブで連続得点したところで佃がタイムアウト。しかし、福島第一は#7の3Pで波に乗ると、#6のジャンプシュート、#7の3Pで同点に追いつき、速攻で一気に逆転。佃も応戦し、フリースローやドライブで加点して、33-30で佃がリードして前半を折り返す。第3Q、互いになかなかシュートが入らない時間帯が続くが、残り5分、福島第一#7のドライブで逆転。その後も#7のドライブで加点すると、佃も#5#6が得点し、一進一退の試合展開となる。残り2分、佃がタイムアウトを取ると、すぐさま#7がドライブで得点。その後#4の連続得点で44-38で佃がリードして第3Qを終える。第4Q立ち上がり、両チームとも譲らない試合展開となる。残り4分、福島第一がタイムアウト。#4と#7の活躍で1点差に詰め寄せると、今度は佃がタイムアウトを取る。福島第一はディフェンスをオールコートマンツーマンに変え、プレッシャーをかける。しかし、佃は#8のリバウンドシュートやゴール下のシュートで加点する。対する福島第一も相手のパスミスから#10と#7が連続得点し、逆転に成功。残り1分を切ったところで佃の#4がゴール下シュートを確実に決め、再逆転した。最後、福島第一は果敢に攻めたが、シュートを決めることができず、佃がリバウンドを取り、54-53で佃が勝利を収めた。どちらのチームも激しいディフェンスと関係プレイが光り、最後まで目が離せない好ゲームであった。

文責 【 久米 美樹 】